

のりとはさみ

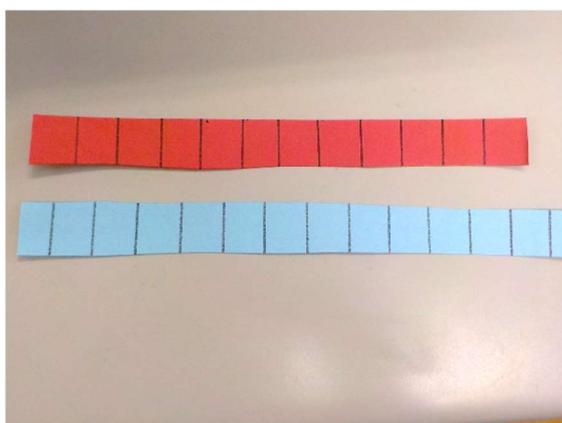
幼児クラスでは、のりとはさみを使いながら日々の工作や遊びを楽しんでいます。今回は、のりとハサミの使い方や教える上でのポイントや簡単な工作遊びも紹介したいと思います。

<のり>

- ・子ども達には、のりをつける指（人差し指、1の指と伝えています）、つける量、角までしっかり塗ることを伝えています。
- ・工作などの際、のりを塗った後に別の作業をしたり、色々な物を触るので子ども達の手元に手を拭くことができる布巾を用意しています。

<はさみ>

- ・まずは、はさみが危険なものでもあることを子ども達に伝え、はさみの渡し方から伝えています。



- ① ↑のようにチョキンと1回で子ども達が切れる長さ(1センチくらい)の線を引き、はさみの使い方と線の上を切る練習をしています。
- ② 1回で切るのが上手になったら長くしてチョキンチョキンと2回で切れる長さ(2～3センチ)の線にしていきます。

切り終わった紙は、透明なビニール袋に入れ、空気を入れて風船にするのが子ども達に大人気です。

のりとはさみを使って、ご家庭でもできそうな工作遊びをいくつかご紹介します。

① あじさい



こちらは、とびうお組が今製作で作っています。
上で紹介したように、子ども達のはさみで線の上を切る練習をしながら花びらを切り、のりで貼り付けています。(花や葉っぱは色画用紙で大人が作りました)
ご家庭でも折り紙で代用しても作ることができます。

② メニュー表



こちらは白い紙に広告やチラシに載ってる食べ物を切り抜いて貼ったものです。
子ども達は、自分達の好きな物を切り抜いて本や図鑑にして自由に遊びを膨らませて楽しみます。手作りのメニュー表はおままごとでも大活躍です！

③ コラージュ

コラージュは、紙を切ったりちぎってそれをのりで貼って絵を作ります。写真のちょうちよは子どもたちの共同作品です。りんごは、よく見ると・・・。

下の作品はチラシをはさみで切ったものを貼り付けましたが手でちぎったものも違った雰囲気になり素敵なものになります。大人もやり始めると止まりません！

